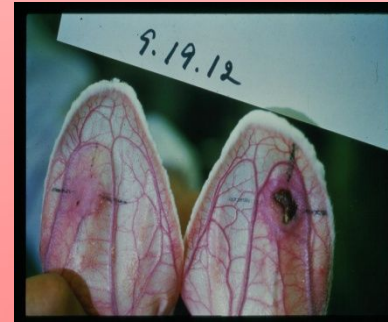


二次障害としての「褥瘡」を積極的に予防する研究を行っています！

- ・ 基礎研究：阻血による組織破壊と再灌流障害の機序解明
 - － 褥瘡動物モデルを用いて、血流によって組織を保護し、回復させるメカニズムを明らかにしていきます。
 - － ヒトへの適応を目的とした、虚血危険マップの提示、浮腫センサによる褥瘡増悪を警報するシステムの構築を目指しています。
- ・ 臨床応用：褥瘡発生メカニズムに基づくシーティングクリニックでの適応評価研究
 - － 発生を予防する日常生活手法の開発－適応－評価を、シーティングクリニックで実施しています。特にpersonalize fitting(=個人に特化した適合)に留意し、使われる褥瘡予防機器や手法の開発研究を実施しています。



加圧前に良好な血流があっても、100mmHg以上で一定時間、加圧すると阻血が認められます。これを繰り返すことで、褥瘡が発生します。

エキスパートと同様に、エアセル型クッションを個人に適する空気量に調整する方法

*クッション製造業者による推奨方法

**NRCD:圧分散計測と指導



10-20mm in height



***指導教育と実践による理解

圧分散計測結果を確認して、実践学習を繰り返し、“自分の手を使って”空気圧を調整する方法を習得する。



研究代表者

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
運動機能系障害研究部
新妻 淳子 niitsuma-junko@rehab.go.jp

